

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	モニタリングと再アセスメントの記録が不十分で出来ていない。	モニタリングと再アセスメントが十分に記録できるようになる。	モニタリングと再アセスメントの記録様式を職員で話合って考え、記録用紙を作り取り組んでいく。各担当職員・リーダー・ホーム長で目標に向けてのモニタリングを行い記録を取っていく。	6ヶ月
2	35	避難訓練の実施回数、夜間の設定の訓練が不十分で出来ていない。	避難訓練の実施回数を増やし夜間設定の訓練も行う。できれば、本避難訓練を年に1回、部分避難訓練を4か月に一回程度行っていく。	年間行事予定の中に避難訓練の日程を組み込み必ず行えるよう努める。本訓練は消防署と連携を取りながら日程を決め部分訓練は全職員と入居者様の状態を考えながら日程を決めていく。	3ヶ月
3		入居者様の介護度、ADL等が悪くなってきているため以前のように外出等が出来なくなり少なくなってきている。	入居者様の希望に添える外出を出来る限り増やせるように努める。(体調やバイタルチェックを考えながら)	家族様やボランティアさんに協力を仰ぎ外出できる土台を作っていく機会を増やしていく。日程を設定できなくても、その日の体調等落ちていければ職員のボランティア又は家族様に連絡し近場でも外出の機会を増やしていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。